

# FB通信

うつのみや

⑫ -2020/12/25- //2019年1月15日創刊//

NPO法人フードバンクうつのみや

TEL 028-348-3412 URL <https://fbu2189.org>

FAX 028-623-6036 栃木県宇都宮市埜田 2-5-1 共生ビル 1階

夕暮れの泉が丘 FB で学生への食品配布会 & 生活相談会



## 苦境の若者、今年の3倍！ 徳山 篤（理事長） 食と心のセーフティネットを作ろう

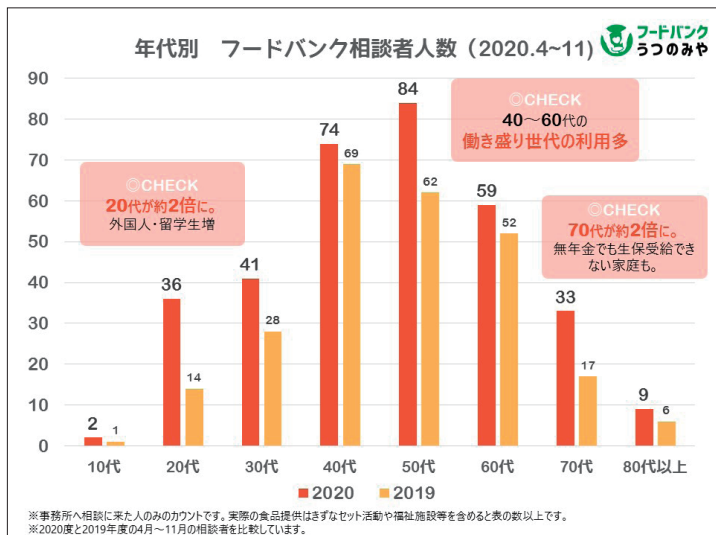
### ■自粛はしない！ 一すると、皆死んでしまう。

昨年11月末に船出したNPO法人フードバンクうつのみやは、10月に発生した台風19号被害による困窮者への食品支援を行い、それとラップするかのよう、3月からの新型コロナの影響で困窮した人への支援をしてきました。これらが通常の業務に加えてのしかかってきて、息継ぎをする間がないほどの対応に追われた日々でした。

フードバンクには不特定多数の人が出入りするので、新型コロナ

による緊急事態宣言中は「活動自粛」も一瞬考えましたが、私たちが活動休止すると、すぐる思いでフードバンクに助けを求めて来る人の支援ができなくなります。「感染防止を強化して活動続行」しかないと考えました。

思いが通じたのか、緊急の食品募集の呼びかけに多くの人や企業・団体が食品を提供していただき、多くの人から寄付もたくさんいただきました。また、助成金も獲得し結果的には、忙しいけれども充実した活動ができました。



### ■若者、50代、70代

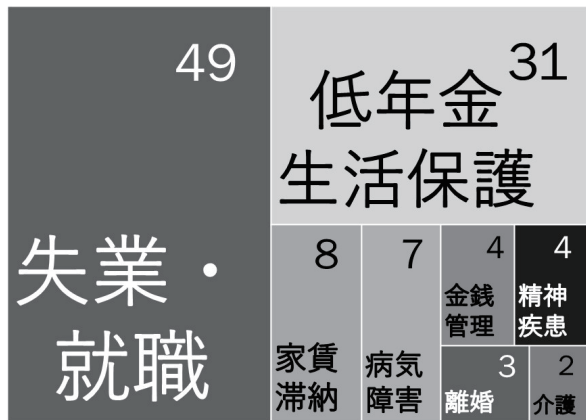
冬になり新型コロナの感染が拡大中で、それに伴う経済悪化で再びSOSが増えています。今年の相談件数は昨年の1.4倍で、気になるのは20代の若者の相談件数が3倍にも増えていることです(左図)。9月には学生の自殺も急増。相談会もやりました。これから社会を支えていく20代世代の一角が崩れていると想像できます。働き盛りの50歳代や年金世代の70歳代の相談も目立って増加。経済的弱者にしわ寄せが集中して深刻な状態となっています。

私たちはこのような人たちによりそい、セーフティネットの一角をフードバンクで担っていきます。そのためには、組織の基盤(ひと、もの、金、広報)を強化していくことと、県内のフードバンク団体、困窮者支援団体と連携して、食と心のセーフティネットを形成していく必要があると思っています。

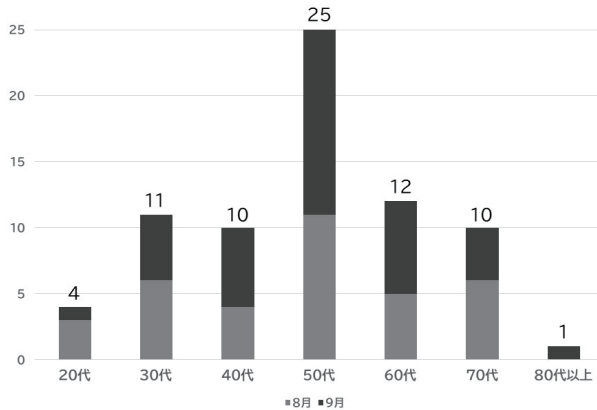
# 今月のSOS

FB 利用世帯数（複数回支援）  
 10月 31 世帯（支援 104 回）  
 11月 35 世帯（支援 115 回）

FB 主な利用理由(2020/10-11)\* 複数回答・総数63人



FB 年代別 相談者数 (2020/10-11)



## 今月のSOS の一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して掲載。

### 10月 31 世帯 (104回)

10月1日 ● TKT 男 33歳・宇都宮市。不眠、うつで離職しやる気がおきない。⇒米 1kg 食品 5kg 支援。

10月2日 ● CNE 男 48歳・栃木市。ネパール出身。難民申請が不許可に。病気治療中だが国保証なく医療費 7～8 万円かかる。⇒米 6kg 食品 3kg 支援。

10月2日 ● CHS 女 26歳・栃木市。難民申請

不許可により夫だけ帰国。今年 4 月に出産した。

就労可であるが仕事が無い。⇒米 3kg 食品 2kg 支援。

10月2日 ● SHE 男 76歳・宇都宮市。スーパーで万引きし拘留された。生保利用中だが一時停止の措置を受けている。⇒食品 2 支援。

10月6日 ● SAK 男 49歳・宇都宮市。兄の勤労収入のみで生活。本人無職。⇒米 3kg 食品 3kg 支援。●⇒ 10/20: 米 3kg 食品 2kg。●⇒ 11/5: 米 3kg 食品 3kg。

10月8日 ● MAE 女 34歳・宇都宮市。母子家庭。離婚後実家にいたが出ていくよう言われ、引っ越した。収入は仕事と児童扶養手当で月 12 万円程。⇒米 8kg 食品 10kg 支援。●⇒ 11/7:

米 8kg 食品 8kg 支援。

10月14日 ● OHY 男 59歳・宇都宮市。刑務所出所後、ホームレス。不眠症と血便あり。家族とも連絡取れない。⇒食品 2kg 支援。

10月21日 ● KAK 男 51歳・宇都宮市。雇用保険基本手当を 8 月まで受給。まだ就労できない。手持ち金 1000 円のみ。療育手帳第 II 種知的障害⇒米 3kg 食品 3kg 支援。●⇒ 11/11: 米 2kg 食品 3kg 支援。●⇒ 11/28: 米 5kg 食品 3kg 支援。

10月21日 ● ABK 男 24歳・宇都宮市。コロンナで 2 月に雇止め。キャバクラの仕事をしていた。家賃 2ヶ月滞納。光熱水費 1 月滞納。⇒食品 3.5kg 支援。

10月23日 ● SAE 男 35歳・宇都宮市。統合失調症発症し営業職を退職。精神の手帳申請した。⇒米 3kg 食品 5kg 支援。●⇒ 10/27: 食品 46kg 支援。

10月24日 ● MUS 女 49歳・宇都宮市。母子家庭。交通事故に遭いアルバイトを長期休業し解雇された。未婚のまま娘を出産。養育費なし。⇒米 10kg 食品 6kg 支援。●⇒ 11/11: 食品 6kg 支援。

### 11月 35 世帯 (115回)

11月5日 ● YAA 男 42歳・宇都宮市。収入は障害年金と特別児童扶養手当のみ。他県から転居してきたばかり。⇒米 5kg 食品 4kg 支援。

11月5日 ● SAN 女 28歳・宇都宮市。通訳の仕事了解雇された。FB はきずなセッ配布会で知った。仕事探し中。⇒米 5kg 食品 4kg 支援。

11月10日 ● TAK 男 50歳・県内。コロナでホテルの仕事を解雇され、日光から職探しに来た。

## コロナで失業。届いた「きずなセット」で私も、子どもも笑顔に。

FBでたすかりました

渡辺かおりさん (仮名: 41歳 / 茂木)

小学生の子が 2 人いる母子家庭です。第 5 回めと、第 7 回めのきずなセットをいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、6 月に失業

してから未だに仕事に就けず、失業保険で、家計を節約しながら暮らしています。

フードバンクうつのみやの「きずなセット」の活動を知ったのは Twitter でした。困っている人のためにボランティアで作業し、活動していただいていることを日々の更新で拝見しながら、本当に感謝しています。

きずなセットが届いた 11 月 27 日は、偶然にも私の誕生日。こどもたちの笑顔に囲まれる最高の誕生日になりました。きずなセットに入れる食品を寄付して下さった皆さま、送って下さったフードバンクの皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



# SOS の途中

野宿1か月。  
裸足、サンダル、ぼろぼろ  
姿…。それでも地元で申請  
できない理由は…、  
「あいつ」がいたから。

井口 満さん(仮名 59歳)

10月下旬、FBにきた井口満さん(仮名 59歳)。「朝から何も食べていない」という。10日前に仕事を辞め、宇都宮で新しい仕事を探そうと県北のA市から出てきたと…。とりあえず、寄付のパン食べていただいた。

フードバンクは、駅前の「若者サポートステーション」で聞いた。「カップ麺と3,000円をもらい昨夜はネットカフェ泊」と語りだした。10日前に、県北のアパートは引き払い宇都宮駅にきたが、当てではなく駅構内・公園で野宿。昼間は駅前のハローワークで仕事探ししていたようだ。

聞いたことには応えるが、「独りになりたいから仕事を辞めた」「今月アパートの更新月だが契約解除になっていない」「家賃は11月分まで払っているので11月末まで住める」「10/23には、最後の給料が3万円が振込まれる」などなど、井口さんの<sup>とつとつ</sup>語る言葉がどうも釈然としない。辻妻があわないので、宇都宮で仕事を探し生活する、は本意ではないのでは?と思ひながら、こんなやり取りが20分続いた。

「仕事がなければ収入がないので生活保護を利用すべき、要保護状態」と話した。まずは振り込まれる給与3万円を有効に使い、A市に戻ることを勧めた。そのため3日分の調理不要な食品を支援した(つもりだった)。

2日後の朝、まだシャッターの閉まっている事務所の前にたたずむ井口さんの姿。「昨日の昼までに全部食べてしまった」と。とりあえずカップ麺を食べさせる。額は不明だが借金があることが伺えた。それで「逃げてきたのか?」と類推した。いずれにしても明日お金が入るはずなので、A市のアパートに帰り、仕事探しを始め、そのうえですぐに収入は確保できないのでA市役所へ生活保護の申請を行うよう促した。1日分の食品を渡し見送った。

一応フードバンクの支援はこれでお終いと思っていた2週後の11月10日、突然、靴下も履かずサンダル履きのぼろぼろの姿でフードバンクに現れた。霜焼けで靴が履けなくなったようだ。「A市に帰ったのではなかったのかい?」思わず叫んでしまった。寒さも厳しくなってきたこの頃、市役所の正面玄関軒下で3日間ほど守衛さんに追い出されながら夜を過ごしていたらしい。所持金は



小澤勇治●本会職員

30円。そのお金は宇都宮社協からA市に戻るための交通費で、昨日お腹が空き過ぎてコンビニでパンと飲み物を買った残金だった。もはや、パンを食べさせて「じゃ!元気でね」というわけにはいかず、少々怒り、怒鳴りながら様子を聴きだした。

「A市役所へは行きました」本当に市役所・生活保護申請に行ったのか疑わしいので、A市の窓口へ電話で問合せしてみた。

「確かに窓口へ来ています。その後は何もありませんね」とのことだった。「市役所へ行ったときに“あいつ”がいたんです。“林”というやつですが…」。「関わりたくなかったので、会わないようにA市役所から出ちやいました。」その“林”

という人物に10年来付きまとわれ、何かとお金をせびられていたようであった。突然仕事を辞めてしまったことや、貯えもないのにA市を飛び出してきた理由が少し分かってきた。

10月23日には一応A市に戻り、A市での生活保護利用を本人は真剣に考えたようであったが“林”某の存在が恐怖となり2~3日で宇都宮に舞い戻ってきた。その後10月25日頃にはティ・エム無料低額宿泊所にお世話になったが2日ほどで飛び出した。11月に入り、空腹でめまいがして救急車で病院へ搬送される。11月7日夜にはティ・エムの玄関前で夜明けを待ち、朝出勤してきた所長さんに「もう一度泊めてもらいたい」と直談判したが「きちんと手続きを経ないとダメだ」と言われ、ホームレス状態から脱却はできなかった。こんな話を聞いてしまうと「生活保護を申請し利用しながら生活を建て直すのが最善の道だ」と本人に諭し、説得をするほかはなかった。

それから、井口さんを市役所生活福祉課へ連れていき生活保護の申請に同行支援した。足が痛いので歩けないという井口さんを叱咤激励しながら30分かけて市役所へ歩いていった。

無料低額宿泊所とは、社会福祉法第2条第3項第8号に規定する「生計困難者のために、無料又は低額な料金を、簡易住宅を貸し付け、又は宿泊所その他の施設を利用させる事業」を行う施設のこと。県内には3か所ある。ティ・エムは宇都宮市内にある。

一緒に行動していた元同僚に所持金を盗まれた  
⇒食品1支援。

11月10日●SIY男47歳・宇都宮市。ホームレス状態で所持金30円。内縁の妻妊娠7ヶ月だが一度受診しただけで経過はわからない。⇒食品2kg支援

11月18日●SUM男60歳・宇都宮市。母の介護もあり15年間無職。母の年金で生活していたが母親が死亡し一人となる。⇒米3kg食品3kg支援。

11月19日●ISM34歳・宇都宮市。県外で建築関係の仕事をやっていたが3ヶ月分の給与

未払い。妻(19歳)は妊娠2か月。  
⇒食品8kg支援。

11月19日●ZEJ男44歳・県内。3日前に仙台から来た。漫画喫茶に寝泊まりしていたがもうお金ない。本日宮ハローワークにて面接。⇒食品2.2kg支援。

11月20日●UOH男27歳・宇都宮市。広島より宇都宮へ転居し、生保申請する。特別支援学校・高等部の時に両親が離婚。祖母の学費支援で卒業した。⇒米3kg食品3kg支援。

11月20日●SHK男48歳・宇都宮市。他県の建築会社に就職が決まりそう。しかしアパートが

見つからない。米3kg食品3kg支援。

11月24日●DOR女60歳・宇都宮市。野菜販売の仕事はしているがコロナで収入が減少。フィリピン人(同胞)の友人から聞いて来所。日本に来て10年。永住資格あり。⇒米10kg食品1kg支援。

11月24日●YOK男79歳・宇都宮市。医療費が月3.5万円で、年金受給前になるとお金が足りなくなる。ヘルパーの回数も減らした。破産手続きのため市役所に行った。⇒米2kg食品3kg支援。

## V ネット「来年どうするか会議」に参加して

### V ネット内「チーム」間のつながりで、張り切って行こう！という感じがしました。

藤咲 健司（困窮者の相談ボランティア、40代）

11/21に実施された『V ネット・来年どうするか会議』、フードバンクうつつのみやはもちろん、V ネットのいろいろなチームの中心メンバーの皆さん 20人以上が大集結し、熱気あふれる討議を展開していました！ 私にとっても10月からの活動参加早々にこういった機会に巡り合え、勝手に「V ネット集中講義」を受講させていただきました（笑）。

気になるFB関連ではVレンジャーとの泉が丘支所の共同活用、YMCAさんとのきずなBOXの運用連携、リスマイリーさんとの野菜提供連携、済生会宇都宮病院さんとの食品頒布会を通じた連携強化など、今回の会議テーマ「各団体間の連携」でも沢山のつながりが生まれつつあるようで、今後はさらにメンバーの皆さんがベクトルを合わせて張り切れる環境になっていくように思えました。

そしてそのすべての動きが『困っている方々の糧』となりますように！



フードドライブ中（食品受付）。12/5「エコテック&ライフとちぎ」で。



## FBボランティア募集

●問 /028-348-3412

### ・食品回収ボランティア

スーパーマーケットや施設に置いてあるきずなボックスの食品の回収や、寄付の玄米の精米で、車（軽バン）を運転します。（現在2人）

### ・困窮者聞き取りボランティア

FBに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度。★大募集（現在3人）

### ・食品管理ボランティア

入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備します。週に1日か2日、2時間から4時間ぐらいが目安です。（現在10人位）

## 会員・寄付者

### ありがとうございます♡

12/25現在：正会員21人、賛助49人、団体3、学生サポ2人

#### 11-12月の新入会員

■正会員 / 泉満弘、原隆 ■賛助会員 / 白井郁子、生野俊美、夏目清和、小澤美江、釜井直人、高崎至子、羽石洋子、小松山悦子  
■団体会員 / 済生会宇都宮病院、株日本栄養給食協会

#### ■11-12月の寄付

宇都宮まちづくり活動応援事業 2,300円、白井郁子 2,000円、廣瀬真弓 2,000円、瀧田治子、石岡悦子 3,000円、横田友子 3,000円、恵光寺 20,000円、宮村尚 10,000円、屋代あゆみ 3,000円、杉山恵理 10,000円、村上八郎 3,000円、宮下弥生 10,000円



「もったいない」を「ありがとう」に。

### 会員を大募集中！

◆会費（年間）

◎正会員 12,000円  
◎賛助会員 3,000円  
◎団体会員 30,000円  
◎学生サポーター 1,000円



Twitter



## 10年前 V ネットに、1年前 FB ボラに。食品寄贈してくれた人の志に感謝

卜部弘子さん（困窮者の相談ボランティア、60代）

10年前（2011）に初めてV ネットに来て、FBへのお誘いを受けてからは1年余りになります。月に数日のお手伝いですが、様々なことを学ばせていただいております。

食品を受け取られた方から、「いずれ寄付できるように頑張ります」とのお言葉をうかがうとき、改めてご寄付くださった方々に感謝しています。

食=人を良くすることと学生時代に聞きました。食品をお渡しする際には 食べ方の工夫も伝えることと、少しでも笑顔でお戻りいただける様心がけています。

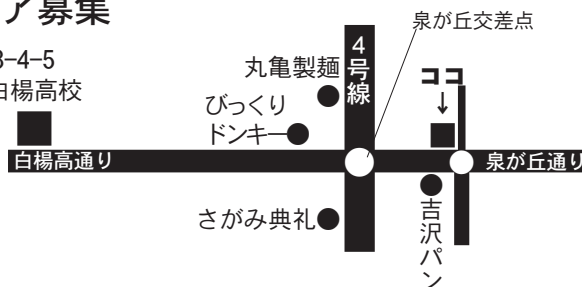


## 駅東、泉が丘FB支所、開設。留守番もいるよ。

火・水・金・土 11-15時

- ①食品提供
- ②食品寄贈を受付
- ③ボランティア募集

宇都宮市泉が丘 3-4-5  
白楊高校



■銀行  
栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399  
名義 / 特定非営利活動法人フードバンクうつつのみや 理事 徳山篤 ※領収書発行のため、メール・電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局  
宇都宮 00260-2-90882 特定非営利活動法人フードバンクうつつのみや

■Web サイトから  
クレジットカードでのご寄付もできます。